

～チーム医療で得られる 患者さんの安心感～

連載15・元気が出るチーム医療

今回も、聖路加国際病院フリストセンターでのチーム医療を取り上げます。さて、聖路加国際病院は、日本で最初に「人間ドック」を始めたとされていますが、その病院が、また、新しいことに挑戦しています。聖路加国際病院と慶應義塾大学病院、そして、アメリカのテキサス大学MDアンダーソンがんセンターが手を携えて、がん医療のエキスパートを育成するプログラム、「Academy of Cancer Experts Program」を始めるといいます――

小嶋修一・TBS報道局解説室

の「チーム医療」の重要性を必要とする。併せて、がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。

「がん医療」の重要性を必要とする。併せて、がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。

「がん医療」の重要性を必要とする。併せて、がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。

（専門）チーム医療の重要性を必要とする。併せて、がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。

「がん医療」の重要性を必要とする。併せて、がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。

「がん医療」の重要性を必要とする。併せて、がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。がん医療のエキスパートが活躍する。

入材育成が急務の課題 のチーム医療

聖路加国際病院 小嶋修一